



2021年11月19日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹

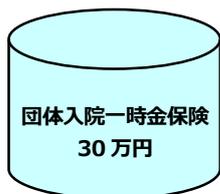


太陽生命、企業・団体向け『団体入院一時金保険』を新発売!

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社(社長 副島直樹)は、2022年4月より、企業・団体向け「団体入院一時金保険」を新たに発売しますのでお知らせいたします。

【商品の主な特長】

1 日帰り入院を含む入院で最高30万円の一時金を受け取れます!



2 新型コロナウイルス感染症を含む所定の感染症^(*1)等による入院を上乗せで保障します!^(*2)

【プラン例】

入院一時金額20万円、かつ災害入院一時金額10万円を同時に付加した場合



合計最高
30万円

3 外来・日帰りを含む手術を受けたときに、給付金を受け取れます!

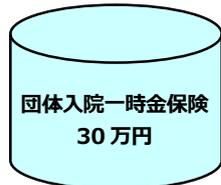
※手術特約を付加した場合



4 「団体入院一時金保険」等+「手術特約」で合計最高40万円を保障します!

【プラン例】

入院一時金額30万円、かつ手術給付金額10万円を付加し、入院をして所定の手術をした場合等



合計最高
40万円

医療技術の進歩等により、平均入院日数は短期化傾向にあります。入院日数が短期間でも自己負担額が高額となるケースがあります。また、手術を受けた方のうち約2人に1人は外来手術を受けるなど、外来手術に対し備える必要性が高まっています。

今般、企業保険分野において「団体入院一時金保険」を発売することで、企業はより充実した医療保障を福利厚生制度の一環として従業員に提供できるようになりました。

当社はこれからも時代を先取りし、お客様に寄り添い続け、誰もが安心して元気に長生きできる社会の実現を目指してまいります。

以上

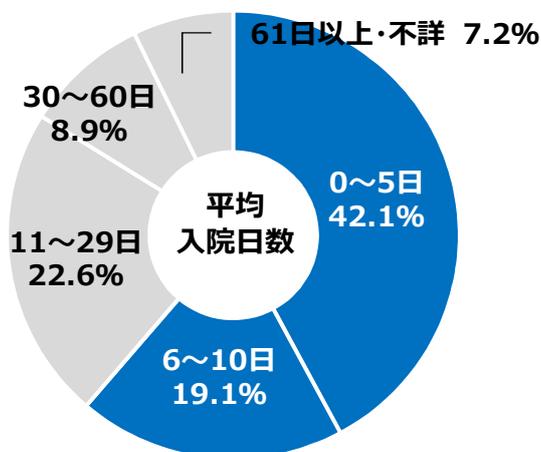
^(*1)「所定の感染症」とは、新型コロナウイルス感染症、O-157、コレラ、ペストなどの感染症のことをいいます。

^(*2)災害入院一時金特約は、告知日から起算して10日以内に発病した感染症を直接の原因とするときは保障の対象になりません。

商品開発の背景

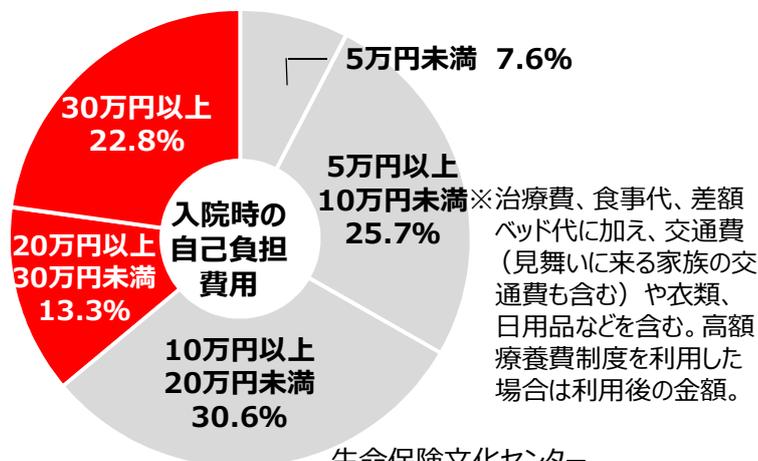
1. “入院”の変化

約5人に3人が10日以内に退院するなど、入院の短期化傾向が進んでいる。



厚生労働省「平成29年患者調査」より

約3人に1人の割合で自己負担額20万円以上となるなど、入院日数は短期化していても、負担は一定額発生している。



※治療費、食事代、差額ベッド代に加え、交通費（見舞いに来る家族の交通費も含む）や衣類、日用品などを含む。高額療養費制度を利用した場合は利用後の金額。

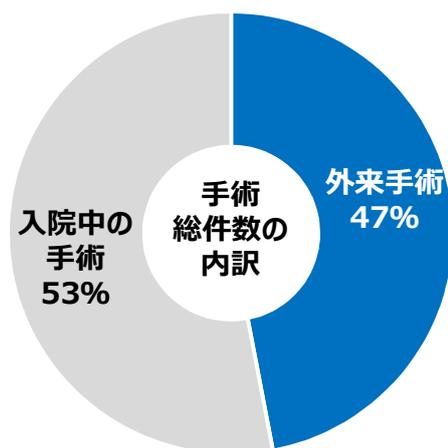
生命保険文化センター「令和元年生活保障に関する調査」より

入院時にかかる主な費用



2. “手術”の変化

手術総件数のうち、入院中の手術は53%、外来手術は約47%となるなど、外来手術に対して備える必要性が高まっている。



外来で行われることが多い手術の例

大腸ポリープ	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術
中耳炎	鼓膜（排液・換気）チューブ挿入術
いぼ・皮膚良性腫瘍	皮膚、皮下腫瘍摘出術
さらにこんな手術もお支払しています	
ドライアイ	涙点プラグ挿入術
まき爪	陥入爪手術
魚の骨除去	咽頭異物摘出術
痔核（いぼ痔）	痔核手術

厚生労働省「令和元年社会診療行為別統計令和元年6月審査分」に基づき当社作成

- 外来手術とは、入院せずに受けられた手術をいいます。外来手術給付金の支払対象となる公的医療保険制度の対象手術は、医科診療報酬点数表に記載の手術に限ります。また、創傷処理、デブリードマン、抜歯手術等、一部お支払できないものもあります。
- 診療報酬点数表における医科診療報酬点数表に記載の「処置」などに該当する場合は、手術給付金の支払対象となりません。

このニュースリリースは商品の概要を説明したもので、保険募集を目的としたものではありません。